

「紅まどonna」を全国へ発信

市長が生産地を視察し、トップセールス

青果・花きの取扱量が日本一の大田市場（東京都）で行う、まつやま農林水産物ブランド「紅まどonna」のトップセールスに先立ち、野志市長が11月13日に、上伊台町の生産地を視察しました。



生産者の岡宮壽さんから、今年の紅まどonnaの出来栄などの説明を受け、市長は、「生産者から教えていただいた2つの『く（苦勞と工夫）』、そして生産にかける熱い思いを

しっかりとPRしたい」と話しました。11月25日に大田市場で実施したトップセールスでは、市場関係者に「紅まどonna」の特徴や生産者の苦勞と工夫をパネルで紹介。生産者の努力を市場関係者に伝えました。市場関係者への試食では、高品質をアピールでき、その後の「競り」でも活発な取引が行われました。



農林水産課 ☎948-6565・FAX 934-1808

JAEえひめ中央役員が「紅まどonna」を携えて本市を訪問

まつやま農林水産物ブランド「紅まどonna」が、11月21日から全国一斉販売されるのを前に、えひめ中央農業協同組合の役員と同農協のキャンペーン隊「JASH」が、本市を訪問しました。美しくおいしく仕上がった果実を携え、今年の出荷や販売にかける意気込みを伝えました。

福島幸則代表理事理事長は、「夏の酷暑や台風など厳しい気象条件の中、生産者の努力で、今年もおいしい紅まどonnaができた」と語り、野志市長は、「豪雨災害で被災された農家の皆さんのためにも、トップセールス



で紅まどonnaをしっかりとPRしてきます」と話しました。

農林水産課 ☎948-6565・FAX 934-1808

松山産農林水産物の情報発信サイト「マツヤマルシェ」オープン

松山産農林水産物の魅力を発信するウェブサイト「マツヤマルシェ」がオープンしました。旬の地元食材や、生産者インタビュー、直売所情報など内容が盛りだくさんで、これからも情報を追加していきます。

また、地元食材を活用したレシピをcookpadで公開するほか、InstagramなどのSNSでも発信しています。



農林水産課 ☎948-6565・FAX 934-1808

2月16日(日) 市長と話そう! 湯築・道後地区 タウンミーティング参加者募集

日時 令和2年2月16日(日)13時～14時30分

会場 子規記念博物館(道後公園) 4階 講堂

テーマ 湯築・道後地区のまちづくりについて

定員 45人程度

対象 湯築・道後地区に在住または通勤・通学している人

申し込み 12月27日(金)(消印有効)までに、直接または郵送・ファクス・eメールで参加申込書(タウンミーティング課<市役所本館9階>、道後支所、市ホームページにあり)に住所、氏名、電話番号、年齢、性別、勤務先(学校名)、テーマについての意見などを書いて、〒790-8571 タウンミーティング課 town-m@city.matsuyama.ehime.jpへ ※託児が必要な場合は、申込書にご記入ください



農林水産課 ☎948-6333・FAX 934-2336

市内の交通安全のために

四国西濃運輸労働組合から寄付金をいただきました

交通事故ゼロを目指し、毎年10月1日～31日の1カ月間「カンガルー運動募金」を実施している四国西濃運輸労働組合から、交通安全推進事業へ寄付をいただき、本市から、同組合に感謝状を贈呈しました。

野志市長は、「寄付をいただき大変ありがたい。交通安全の啓発はとても重要。大切に使用」と感謝を述べました。いただいた寄付金は、交通安全教室で使用する機材や啓発品の購入などで役立ちます。



(右から)四国西濃運輸労働組合執行委員長 渡辺敏彦さん、野志市長、同組合書記長 白石浩介さん

農林水産課 ☎948-6421・FAX 934-1807

松山を花いっぱい

花の種と球根の寄贈に感謝状を贈呈

11月21日、農林中央金庫松山営業所からチューリップの球根と花の種を寄贈いただき、本市から感謝状を贈りました。農林中央金庫松山営業所は地域の環境保全や「花いっぱい運動」などの緑化を積極的に進めています。

野志市長は、「花を育てることは、命の学習につながる。長くご支援いただきありがたい」と話しました。

市内の小中学校を代表し、今年度学校花壇コンクールで農林中央金庫松山営業所長賞を受賞した垣生小学校の児童が花の種を受け取りました。そして、倉田所長と野志市長に手作りの感謝状を送りました。

いただいた球根や種は各小中学校で育てられ、毎年春にきれいな花を咲かせています。



農林水産課 ☎948-6854・FAX 934-8723